

機器トラブルによる課題（デジタルサイネージの例）

保守管理会社

サーバ

WWW

光ルータ

HUB

STB

モニターA

モニターB

設置現場

動作停止？

動作停止？

動作停止？

動作停止？

動作停止？

動作停止？

画面が表示されていない！
広告を流してるから困るんだ！
とにかくすぐ直してくれっ！

申し訳ございません！
すぐに伺います！
～でも、遠方だから到着までに時間がかかるし、経費がかかって大変なんだよな～

かつ、故障箇所の推測ができないから行ってみたいとわからない・・・
復旧できるかわかんない・・・

NONフリーズの出番です！

- メール受信
機内で一早く不具合を把握
- 業界初！
ポート監視
ができます！
- 知らないうちに
自動復旧
してくれます！
- 24時間
365日
監視し続けます！
- コマンド発行
PCも安心して
再起動OK！

日本初Port監視による自動復旧

＜Pingによる監視＞

＜Portによる監視＞

Ping問合せ

応答

Port問合せ

応答

第130回 かわさき起業家オーディション 「かわさき起業家優秀賞」受賞

保守業務における働き方改革と 導入コスト負担低減モデルの推進



バリューソリューション
株式会社

代表取締役
日野利信

自宅や職場でパソコンやスマートフォンを操作していると、突然Wi-Fiの通信が切れて困った経験をお持ちの方はいませんか。そのようなとき、一度Wi-Fiルーターの電源を抜き差しすると、再びWi-Fiがつながる場合があります。これはメモリ不足や周辺の電磁波の影響など、さまざまな要因から、ルーターが「フリーズ」してしまうことが原因です。フリーズの場合、再起動することでほぼ復旧します。こうしたネットワーク機器のフリーズ状態を検知し、自動的に再起動を行う装置が、当社が製造・販売を手がける「NONフリーズ」です。

私たちには、この製品を広く展開することで「保守管理会社の力になりたい」という想いがあります。ネットワークの保守管理を行う企業は、機器にトラブルがあれば、すぐに現場に駆けつけなければなりません。ところが、原因の多くは機器の故障ではなく、OSやアプリケーションのフリーズにあり、ほとんどの場合は再起動をするだけで復旧します。そのために時間と費用をかけて技術者を向かわせることは、中小の企業にとっては大きな損失です。「NONフリーズ」を導入していただくことで、保守管理を行う中小企業のコスト削減と、技術者の働き方の改善に貢献していきます。

■受賞したビジネスに至った経緯

もともと、私と取締役は、デジタルサイネージの導入、設置、配信、コンテンツ制作を行う別会社で事業を営んでいました。そして2012年、岩手県の三陸鉄道久慈駅に製品を納品しました。東日本大震災の1年後ということもあり、緊急地震速報も表示されるデジタルサイネージです。

納品後、川崎市の本社から遠隔監視を行っていましたが、ある時、動きが止まっていることを感知しました。おそらくフリーズであり、再起動させればすぐには復旧するケースでした。そこで駅員の方に電話で電源の再起動をお願いしましたが、どのコンセントを抜いていいかわからないと言われ、対応していただけませんでした。地震や津波の緊急速報の役割も担うサイネージなので、いつまでも停止させておくわけにはいきません。そこで川崎から片道7時間かけて、私が岩手県へ向かいました。調べてみると、原因はやはりフリーズでした。作業は再起動のみで、およそ10分で終了。それなのに交通費や宿泊費、人件費を合わせると20万円ほどになりました。私たちのような中小企業にとってはかなり大きな損失です。クライアントは全国にいるので、これが何度も続けば、会社の存続にも関わります。

「どうにかしなければ」と考えた私たちは、フリーズ状態を検知して、自動で再起動をかける装置を自作しました。それを遠隔監視している機器に取り付けると、フリーズが原因で現場に駆け付ける必要がほぼなくなったのです。ただ、このときは商品化することまでは考えてもいませんでした。

状況が一変したのが、あるデジタルサイネージの展示会に出展したときです。ある展示会でサイネージに「フリーズ対策機器」を展示していたところ、お客さまから「これはなんですか?」と問い合わせが相次ぎました。「うちも欲しい」という方がたくさんいたのです。「フリーズ問題に悩まされていたのは私たちだけではなかったんだ」と、驚きました。それから市場を調べてみると、思った以上に需要を見込めることが分かり、商品化に着手し始めたというわけです。

■サービスの特徴

ネットワーク機器のフリーズを自動復旧する電源制御機器はほかにもありますが、「Ping監視」がほとんどです。「Ping監視」は、OSのフリーズには対応できますが、アプリケーションのフリーズには対応できません。その点、当社の「NONフリーズ」は、Pingだけでなく「ポート監視」も行えることが大きな特長です。「ポート監視」ならアプリケーションのフリーズに対応できますし、NONフリーズは監視のためのプログラムをインストールする必要がないので、一般家庭用のWi-Fiルーターにも簡単に導入することができます。「ポート監視」による電源制御機器（特許取得済み）を製造できる企業は、世界でも当社だけです。

主なお客さまは、ネットワーク機器の保守管理を行っている企業です。コロナ禍でリモートワークが進みましたが、ネットワーク技術者はどうしても現場に向く必要がありました。そこに「NONフリーズ」を導入したことで、再起動による出勤がぐっと減り、自宅作業ができるようになった技術者も増えたと大変ご好評をいただいています。

また、Wi-Fi機器を置いているホテルや旅館、コインパーキングや太陽光発電のルーターや防犯カメラ、鉄道の踏切、高速道路の監視カメラにも「NONフリーズ」が採用されています。機器を早急に復旧させなければならぬ重要なポジションに我々の製品が使われていますので、中途半端なものはずくれません。そのため「NONフリーズ」はすべて国内工場で生産し、高い品質

で提供していることも当社ならではのポイントです。

■現状の課題

電源制御機器の国内シェアは、まだPing監視による他社製品が80～90%を占めています。「NONフリーズ」という製品があることをまだ知らない方が多いので、ポート監視ができる当社製品の長を広く知っていただき、認知度を高めたいと考えています。

もう一つの課題は、社会情勢の変化による世界的な半導体不足です。半導体が入手しにくいいため、当社製品へのニーズが高まっているものの、なかなか増産できないという苦しい状況です。さらに「NONフリーズ」は、他社の競合製品に比べると少し高めの価格設定になっていますが、シェアを広げるため、さらに導入していただきやすい価格に抑えたいとも考えています。社会情勢を見極めながら、生産量の向上とコスト削減を目指し、工夫と努力を続けていきます。

■今後の展開

目標の一つ目は、5年後の株式公開（IPO）です。そのためには組織力の強化が欠かせません。現在、事業計画や資金調達などは私が担当しておりますが、この先は専門的な人材を採用し、経営企画室を設置するなど、社内体制を整えていきたいと考えています。

二つ目は、「NONフリーズ」の小型化を目指します。今、外部からスマートフォンで操作できるIoT家電市場の成長が著しいですが、IoT家電は家庭用のWi-Fiルーターに接続して管理するので、フリーズ問題は避けられません。そこで、小型化した「NONフリーズ」をIoT製品の基板に組み込むことができれば、動作の安定化が図られ、さらなるIoT市場の拡大にも貢献できると考えています。

そして三つ目は世界進出です。ポート監視による電気制御は、海外にも大きな需要があります。特に東南アジアは電源事情があまり良くなく、機器のフリーズが多発しています。また、ネット回線が常時不安定だったり、人件費の高騰によって高額な保守費用がかかったりなどの課題もあります。

すでに世界130カ国に対して有効な米国著作権局の登録も完了しているため、今後は、さらに資本力を高めて、国境を越えて「NONフリーズ」を届けていきたいと思っています。

■エントリーを検討中の方へ一言

今回、私たちは主催者賞のほか、関係団体賞の「イグアス賞」をいただくことができました。そのご縁によって、ソリューション事業を行っている株式会社イグアスさまに、「NONフリーズ」の代理店契約を結んでいただきました。こうしたつながりができたことは、当社のさらなる飛躍への大きな一歩になっています。また、製品に関するお問い合わせも増えており、「NONフリーズ」の知名度を高めたいという私たちの目標が達成できつつあると感じています。自分たちのビジネスを広く知ってほしいと考えている方は、かわさき起業家オーデイションに挑戦することも、一つの有効な手段になるのではないのでしょうか。

会社名：バリューソリューション株式会社

住所：〒210-0006

神奈川県川崎市川崎区砂子1-7-5

タカシゲビル6F

電話番号：☎044-400-1250

ホームページ：https://value-solution.co.jp/